

教科名	対象学年	使用した資料（参考にした資料）	TYPE
社会	中学2年	授業アイデア集【中学校版】p19, 20	Ⅲ

授業内容	自然環境等から九州地方のキャッチコピーをつくろう。
身に付けたい力	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話す力。 ・話し合い活動を通じて、自分の考えを深め、広げる力。

<table border="1"> <tr> <th>教科名</th> <th>対象学年</th> <th>学校名</th> <th>課題の見られた問題</th> <th>TYPE</th> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>3年</td> <td>皆野町立皆野中学校</td> <td>27年度 全国 A1</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </table> <p>授業の内容 自然環境等から九州地方のキャッチコピーをつくろう。… 【単元を直ぐ学習課題】…</p> <p>身に付けたい力 ・聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話す力。… ・話し合い活動を通じて、自分の考えを深め、広げる力。…</p> <p>【生徒の課題】… 国語Aの問題から、分かりやすい語句を選択して話すことに課題があり、質問紙の回答からも、生徒間の話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることに課題が見られた。</p> <p>【授業のポイント】… ・場の構造化（話し合う場所・環境の確立）… 教室の前を一斉指導の場所、後ろをグループの話し合いの場所として設定しておく。… 掛地図の掲示場所、スクリーンの位置、PCの位置、無駄な掲示のない黒板、教師のスペースの工夫…教卓の排除、教育機器の集中設置による指導しやすい環境… ・話し合いが深まるように、役割分担を決め、話し合う課題を明確にする。… ・話し合いの差となる資料を選定する。… ・発表の際の定型文を準備しておく。… ・発表用のホワイトボードを用意し、わかりやすく相手に伝えるというねらいを実現するために、キャッチコピーづくりをする。…</p> <p>【場の構造化】… 比較的スペースの広い教室を活用して、「場の構造化」を図り、一斉授業のスペースと話し合い活動を行うスペースとに分けることによって、メリハリつけた授業の展開が可能になる。また、発表の仕方、課題の提示の仕方についても工夫をし、生徒が考えを深めたり、相手に伝える工夫ができたりする授業を行う。</p> <p>後ろの方はグループ座席に使えるようにする。 前は一所帯業、ペア学習に使えるようにする。発表のときも近くて聞きやすい。 前前は授業に集中できるように、シンプルに！必要以外のものは見えない。置かない、教卓もなくして邪魔も無く！</p> <p>場面によって、さまざまな形態の話し合いができ、一斉指導との切り替えがスムーズにできるよう工夫。</p>	教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE	社会	3年	皆野町立皆野中学校	27年度 全国 A1	Ⅲ	<p>【キャッチコピーづくり】… ○グループ編成 4人… ○役割分担 司会1名、記録(仰付ド)1名、発表1名、発表補助(資料提示)1名… ○授業の具体例 「九州地方の生活の舞台」…</p> <p>【授業のねらい】… 九州地方を、自然環境の面から大きくとらえると、どんなキャッチコピーをつけることができるだろうか？…</p> <p>○準備する資料例（言葉をなるべく使わないようにした資料）…</p>  <p>地形（山）に注目グループ… 気候に注目グループ… 生活様式に注目グループ…</p>  <p>資料を基にグループでの話し合い（司会、記録が活躍）… キャッチコピーを黒板に書く。（記録、発表補助が活躍）… キャッチコピーの理由をボードに書き、発表（発表、発表補助が活躍）…</p> <p>【本授業アイデア例 活用のポイント】… ☆構造化について… 生徒数の減少に伴い、空き教室が生まれる学校も多くなってくると思われる。専用の社会科教室を持つチャンスである。環境を整えば生徒のやる気を引き出すこともできる。… ☆キャッチコピーづくり… 「わかりやすい！言葉でまとめたキャッチコピーづくりは、相手に何を伝えたいかをまとめるトレーニングになる。様々な場面で活用することができる。…</p>
教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE							
社会	3年	皆野町立皆野中学校	27年度 全国 A1	Ⅲ							

【授業のポイント】
○話し合いを行いやすい資料を選定する。

【授業の様子】
・実践事例集と同じように、生徒たちが話を行いやすく、幅広い意見を出せるように「言葉をなるべく使わないようにした資料」を用意した。授業の構成をアレンジし、「持続可能な社会」に焦点をおいて3パターンの資料を選んだ。



土砂流出・赤土堆積



ヒートアイランド現象



大気汚染・水質汚濁

【効果】

- ・文字の少ない資料を中心にしたため、社会科が苦手な生徒も意欲的に話し合いに参加し、学びを深めることができた。
- ・発表者によって内容や言い回しが違い、聞き手を意識して分かりやすい語句を選んで発表する様子が見られた。
- ・発表者によって、内容や言い回しが違ったため、聞き手も発表を聞きながら、自分の考えを深め、広げることができた。

【留意点】

- ・話し合いの内容を明確にするため、今回は各班に小さいホワイトボードを配布し、「資料から読み取れる環境問題」と「その環境問題に対する取組」の2つを記入させた。
- ・聞き手が発表を聞き流さないように、ワークシートに発表メモ欄をつくり、各班の発表を聞きながら「キーワード」をメモさせた。

【授業のポイント】

○班の中で一人一人が役割を担い、全員が参加する。

【授業の様子】

- ・生徒全員が学習に参加しやすくするため、4人の班を9班つくり、一人一人に役割を与えた。(司会、ホワイトボード記入・発表・発表補助・準備片付け)

【効果】

- ・役割分担を行う段階で、班の中でじゃんけんをする光景などが見られ、空気が和み、話し合いにスムーズに入ることができた。
- ・発表補助や準備片付けの役割をつくることで、人間関係や学力面で課題を持つ生徒にも役割を与えることができ、学習に意欲的に取り組ませることができた。
- ・発表補助の生徒が聞き手に資料を見せながら発表を行うため、聞き手にとって分かりやすい発表になった。また、発表者と補助者のコミュニケーションも活発になった。

【留意点】

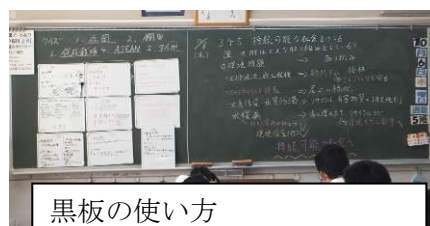
- ・発表中に騒がしくならないように、発表者と発表補助者との打ち合わせは、班での話し合いの時間の中で行うよう予め支持をしておいた。



話し合いの様子



発表の様子



黒板の使い方

左：生徒の話し合いのまとめ
右：教師のまとめ